

【在宅看護論実習の事前学習について】

- ① 事前学習（1～18迄）
- ② 自分の目標、学びたいこと
- ③ 受け持ちたい事例の希望（2事例ほど）

①A4ノートに手書きで記載する。

②③はA4用紙2枚程度（表紙別）のレポートにまとめる。詳細は在宅看護論実習手引き「実習記録について」の欄を参照すること。

* 事前学習は、平成30年3月 26日（月）9：15までに事務室前のBOXに提出、その後担当教員のアドバイスをもらい修正後最終提出とし実習先に郵送。期限厳守

* 各教員からのアドバイスは訪問看護ステーション毎に行うため平成30年4月5日もしくは6日に実習室Cに集合予定。詳細については掲示するので各自確認すること。

【在宅看護論実習 事前課題（平成30年度）】

- 1. 在宅看護の基本的な考え方
- 2. 在宅での家族（介護者）の考え方
- 3. 訪問時のマナー、在宅での看護師としての倫理観
- 4. 訪問看護ステーションに関して
 - 訪問看護ステーションの設置基準
 - 訪問看護ステーションの人員基準
 - 訪問看護ステーションの業務内容
 - 訪問看護の流れ
 - 訪問看護を受ける利用者に多い疾患
- 5. 介護保険制度に関して
 - 利用の仕方
 - サービスの内容
 - 訪問看護の位置付け
 - ケアマネージャーの役割
 - 要介護認定調査方法
 - 第1号被保険者 第2号被保険者（特定疾病）
 - 介護保険制度において訪問看護が医療保険適応になる疾患
- 6. 医療保険制度での訪問看護の適用疾患
- 7. 難病対策の制度、手続き、各疾患の病態及び看護
 - 難病対策の制度、手続きの仕方
 - 筋萎縮性側索硬化症
 - 多系統萎縮症
 - パーキンソン病関連疾患
 - 脊髄小脳変性症
 - 多発性硬化症
 - 重症筋無力症
- 8. 在宅における感染管理
- 9. 在宅膀胱留置カテーテル利用者の観察事項および看護上の注意点
- 10. 在宅人工呼吸器の観察点および看護上の注意点
- 11. 在宅中心静脈栄養法の観察点および看護上の注意点
- 12. 胃瘻の観察点および看護上の注意点
- 13. 在宅酸素療法の観察点および看護上の注意点
- 14. 在宅終末期の利用者および介護者の気持ち、介護上の問題
- 15. 訪問看護師の役割
- 16. 継続看護の重要性
- 17. 退院支援看護師の役割および重要性
- 18. 在宅で協働する他職種スタッフの具体的な連携方法および役割（施設内看護師、ヘルパー、医師、理学療法士、ケアマネージャー等）
- 19. 実習施設の地域における社会資源（実習施設周知後学習）
 - 市独自の介護保険以外の社会資源
 - 障害児（者）の利用できる社会資源
- 20. 受け持つ利用者の病態、看護および在宅での管理(実習初日)